

Let's WKB

第2回学校運営協議会を行いました (7月28日)



昨年度から第2回の学校運営協議会は、通常の学校運営協議会に本校の全教職員が参加しての拡大井戸端会議を行っております。

また、今回は7月7日に開催した「コムスク参観日」に出席いただきました関係機関（青森市企業局交通部、浪打交番）の方にも出席いただき、青森若葉養護学校について熱く語っていただきました。

テーマは「少人数を生かす具体策、少人数を補う具体策」と「若葉が地域のためにできること 地域が若葉のためにできること」の二つです。これまでの井戸端会議でも何度も繰り返し出てきているキーワードである「少人数」「(本校の) 知名度向上」「地域貢献」を、もう少し具体的に絞り込み、夏休み明けからの教育活動に即反映したいという思いから、今回のテーマを設定しました。



少人数を生かす具体策 少人数を補う 具体策

少人数であることの良さ → 継続

- ・一人一人に対応できることは大いなる強み (丁寧な授業)
- ・小回りが利くことも強み

少人数であることの厳しさ

- ・話し合い、対話ができない
- ・相手の意見を聞き、自分の意見を修正ができない
- レスタ、近隣の学校との交流
- 地域の方のお力拝借 (実は人材豊富!)

若葉が地域のためにできること 地域が若葉のためにできること

地域のお力をお借りするために

- ・人財バンク：「私こんなことができます」
- ・学校が地域と積極的に交流：盆踊り
- ・学校発の活動への参加：バス停清掃
→ 顔なじみ、お互い様

今行っている活動を発展させて

- ・バス停清掃の継続 → 更なる広がり
- ・野菜の販売学習の発展
→ 地域：新鮮、無農薬野菜
→ 本校：販売学習を通した
コミュニケーション

地域文化祭の実現

まとめ (坂本委員長から)

- ・ give & take から win-win の関係へ
- ・ 相手の win を先に考えることが大切



たくさん意見をいただいています。そろそろ分析をしてみませんか？その上で、青森若葉養護学校としてできることを考えましょう。



たのしかった造道町会夏祭り

8月16日(土) 恒例の造道町会夏祭りに参加してきました。

青森市立造道小学校の正面玄関前には大きな櫓(やぐら)が組み、また正面玄関では造道小学校の卒業生率いるバンドが生演奏するという町会規模としては、かな

り大規模な夏祭りです。

前半のライブに続き、後半はお待ちかねの盆踊り。当日16日は日本三大流し踊りの『黒石よされ』が黒石市で行われていたのですが、本家に勝るとも劣らないエキサイティングな『黒石よされ』、そして『どだればち』『ドラえもん音頭』、更にはみんな大好き『炭坑節』の4曲を踊りました。



造道町会が一つになって、行く夏を惜しむひとときになりました。川村会長さんはじめ造道町会の皆様楽しい時間をありがとうございました。



バス停清掃



毎月最終金曜日の10時50分頃から行っているバス停清掃です。

7月最後は、「県病通り」「県病前」「自治研修所前」に加えて、「県病前(構内)」の清掃にも取り組みました。また、今回は総合的な学習の一環として、中学部生徒も一緒に活動しました。

この活動もいよいよ3年目を迎えました。はじめは、「バス停利用者の方に話しかけられたらどうしよう。」とドキドキしながら取り組んでいた生徒ですが、最近は「清掃します。よろしくお願いします。」と自分から話す生徒もいて、コミュニケーションを学ぶ貴重な機会にもなっています。

引き続きよろしくお願いいたします。



前回に続いて、今回も郵便局長会の皆さんも一緒に活動してくださいました。
「ありがとうございます。」